科目名 ：	数学活用	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 2 回
使用教科書 ：：数学活用 （実教出版）			
学習書 ・副読本 ：：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レ ポ ー ト [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	8 回	3 回	3 回	2 回
テ ス ト [T]	0 回	×	×	×
その他 （課題・実習等）	特別な課題を課すことがある			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

数学の歴史や生活の中の身近な数学を通して、数の諸概念や数と人間の活動とのかかわりを学ぶ。単に計算を行ったり、式を組み立てたりというより、むしろ数や図形の不思議さや数学の考え方を身につけるような科目である。数学に興味関心を持つきっかけとなる内容の科目でもある。

2 学習の到達目標

「身の回りの数学」に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けましょう。
同時にレポートの合格枚数、スクーリングの必要回数を満たしましょう。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：数学的な見方や考え方	c ：数学的な技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	「身の回りの数学」に関する数理的な諸概念に興味・関心をち，それらを意欲的に探究するとともに，数学を活用しようとする。	「身の回りの数学」におけるいろいろな事象について，数学的にとらえて論理的に考察したり，表現できる。	「身の回りの数学」について事象を数量や図形を用いて適切に処理できる。	「身の回りの数学」に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けられる。
評価方法	・記述の点検（レポート）	・記述の点検（レポート）	・記述の確認及び分析（レポート）	・記述の確認及び分析（レポート）

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学 習 内 容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1範囲	数と人間	①古代エジプト・ローマ数字 ②１０進法・０の発見 ③四角数・三角数・フィボナッチ数列倍数の見分け方・数と遊び ④倍数の見分け方・数と遊び	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a具体的な事象の考察をレポートを通じてとらえようとしている。 ｂ具体的な事象の考察をレポートを通じてとらえることができる。 ｃ具体的な事象の考察をレポートを通じ、目的に応じて解答することができる。 ｄ具体的な事象を通じて知識と理解を深める。	・レポート
2範囲	図形と人間	①期待値、単利法・複利法の仕組み ②長さの単位・地図を読もう ③坂道の角度・建物の高さを求めよう	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a具体的な事象の考察をレポートを通じてとらえようとしている。 ｂ具体的な事象の考察をレポートを通じてとらえることができる。 ｃ具体的な事象の考察をレポートを通じ、目的に応じて解答することができる。 ｄ具体的な事象を通じて知識と理解を深める。	・レポート
3範囲	社会生活と数学	①いろいろな場合の数 ②黄金比と２次方程式、ひと筆書きをしよう ③行列と経路	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a具体的な事象の考察をレポートを通じてとらえようとしている。 ｂ具体的な事象の考察をレポートを通じてとらえることができる。 ｃ具体的な事象の考察をレポートを通じ、目的に応じて解答することができる。 ｄ具体的な事象を通じて知識と理解を深める。	・レポート

※ 表中の観点について　ａ：関心・意欲・態度　　ｂ：数学的な見方や考え方
　　ｃ：数学的な技能　　ｄ：知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。